

## 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアプラン I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	キャリア(自分の生き方や働き方)について考え、計画し実行する		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1	自己紹介	クラスメイトと親睦を深める
	2	クラス内親睦	開成山公園へのお花見
	3	目標設定	半年間の目標を立て発表する
	4	teamsの基礎知識	ログイン、チャットの利用方法
	5	teamsの活用	オンライン授業でのグループワーク
	6	実践行動学	マジックドア1
	7	実践行動学	マジックドア2
	8	実践行動学	マジックドア3
	9	実践行動学	マジックドア4
	10	実践行動学	マジックドア5
	11	ビブリオバトル	おすすめの本の紹介
	12	ビブリオバトル	おすすめの本の紹介
	13	他己紹介	2人組でインタビュー
	14	他己紹介	プレゼン資料の作成
	15	他己紹介	発表
	16		
<p><b>履修上の留意点</b>  出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。  対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアプラン I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	キャリア(自分の生き方や働き方)について考え、計画し実行する		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	17	目標設定	半年間の目標を立て発表する
	18	コミュニケーション	出会い・第一印象・自分の良いところ探し
	19		コミュニケーションの基本を知る・グループでコミュニケーションをとろう
	20	コミュニケーションの基本を身につけよう	コミュニケーションと話し上手・挨拶
	21		正しい言葉遣いと敬語
	22	話すときの心構えを理解しよう	聞き手を意識した心構え、話題の広げ方
	23	効果的な話し方を身につけよう	効果的に話すとは 話の構成
	24	効果的な表現力を身につけよう	目線・アイコンタクト
	25	効果的な表現力を身につけよう	表現力を高めるジェスチャー
	26	話すときの心構えを理解する	聞き手を意識した心構え・話題の広げ方
	27	効果的な話し方を身につける	効果的な話し方
	28	面接について	面接のポイントを理解する
	29	自己分析	自己理解
	30	自己PRを考える	自己PRできるものを考える
31			
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション論 I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	社会人として必要な心構えとビジネスマナーを習得。 ロールプレイング・練習問題を通して理解へと繋げる。		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介をしてみよう
	2	他者紹介	クラスメイトに質問して、他のクラスメイトに紹介しよう
	3	コミュニケーションのもつ力	コミュニケーションを考える
	4	コミュニケーションのもつ力	コミュニケーションを考える
	5	聞く力	目的に即して聞く
	6	聞く力	目的に即して聞く
	7	聞く力	軽重・質問する
	8	聞く力	軽重・質問する
	9	話す力	目的を意識する
	10	話す力	目的を意識する
	11	話す力	目的を意識する
	12	話す力	目的を意識する
	13	話す力	話を組み立てる
	14	話す力	話を組み立てる
	15	話す力	話を組み立てる
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション論 I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	社会人として必要な心構えとビジネスマナーを習得。 ロールプレイング・練習問題を通して理解へと繋げる。		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画 後期	17	話す力	表現・伝達する
	18	話す力	表現・伝達する
	19	話す力	表現・伝達する
	20	話す力	表現・伝達する
	21	コミュニケーション実践	来客対応
	22	コミュニケーション実践	来客対応
	23	コミュニケーション実践	来客対応
	24	コミュニケーション実践	電話対応
	25	コミュニケーション実践	電話対応
	26	コミュニケーション実践	電話対応
	27	コミュニケーション実践	アポイントメント・訪問・挨拶
	28	コミュニケーション実践	アポイントメント・訪問・挨拶
	29	コミュニケーション実践	アポイントメント・訪問・挨拶
	30	コミュニケーション実践	アポイントメント・訪問・挨拶
31			
32			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	自己探求 I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: 一	演習: 一	実習: ◎ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間
		週時間数	2 時間
学習到達目標	自らの興味関心を探求し、就職・進学意欲を高める 自らの進路決定に向けて主体的に見学に参加することが出来る		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	自己分析	オリエンテーション
	18	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	19	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	20	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	21	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	22	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	23	自己分析	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	24	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	25	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	26	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	27	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	28	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	29	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	30	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
31			
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	自己探求Ⅱ	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: 一	演習: 一	実習: ◎ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	自らの進路決定に向けて主体的に見学に参加することが出来る 自らの進路を決定し、次へのステップアップの準備をおこなうことができる		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	自己探求	半年間の授業見学の計画・相談
	18	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	19	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	20	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	21	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	22	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	23	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	24	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	25	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	26	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	27	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	28	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	29	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	30	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
31			
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ネイチャー実習 I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	—	実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: —	演習: —	実習: ◎ 実験: —
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 1.5 時間
学習到達目標	自然との関わりを通して、食・環境・地域・人とのつながりを学び、体験型学習を通して主体性や協働力を育成する。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	オリエンテーション	授業概要説明、年間活動紹介、自然体験の目的を理解する
	2	屋上菜園計画	育てる野菜やハーブを決め、栽培計画を立てる
	3	菜園づくり実習	土づくり、プランター準備、種まき・苗植えを行う
	4	植物観察	水やりや成長観察を行い、記録をまとめる
	5	自然素材WS①	植物を使ったクラフト制作を行う
	6	牧場学習	酪農や動物との関わり、命と食について学ぶ
	7	牧場実習	牧場見学や動物とのふれあい体験を行う
	8	実習振り返り	牧場実習のまとめとグループ発表を行う
	9	菜園管理	野菜の管理、害虫対策、収穫準備を行う
	10	果物狩り事前学習	地域農業や旬の果物について学ぶ
	11	果物狩り体験	果物収穫体験と生産者交流を行う
	12	食育WS	収穫物を活用した簡単な調理体験を行う
	13	自然素材WS②	ハーブや自然素材を活用した作品制作を行う
	14	収穫祭準備	活動記録整理や展示・発表準備を行う
	15	成果発表	学習成果発表と1年間の振り返りを行う
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文書作成基礎演習	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: 一	演習: ◎	実習: 一 実験: 一
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	文字の入力から文書の新規作成、既存の文書の編集、印刷まで、Wordの基本的な機能と操作方法を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	よくわかる Microsoft Word2021 基礎		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	Wordの基礎知識	Wordの概要、Wordを起動と終了、文書を開く・閉じる、Wordの画面構成
	2	文字の入力	IMEを設定する、文字を入力、文字の変換、文章の変換、単語の登録、読めない漢字の入力
	3	練習問題	練習問題 解答・解説 タイピングソフトの使い方
	4	文書の作成	ページレイアウトの設定、文章の入力、範囲選択、文字の編集、文字の書式設定、文書の保存、文書の印刷
	5		
	6	練習問題	解答・解説
	7	表の作成	表の作成、表の範囲選択、表のレイアウトの変更、表の書式設定、表のスタイルの適用、段落罫線の設定
	8		
	9	練習問題	解答・解説
	10	文書の編集	いろいろな書式の設定、段組みの設定、ページ番号の追加
	11		
	12	表現力をアップする機能	ワードアートの挿入、画像の挿入、図形の作成、ページ罫線の設定、テーマの適用
	13		
	14	練習問題	解答・解説
	15	便利な機能	検索・置換する、PDFファイルを操作する、練習問題
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文書作成検定対策 I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ー	演習: ◎	実習: ー 実験: ー
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	MOS Word 365 試験に必要な実力を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	よくわかる Microsoft Word2021 基礎		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	文書の管理	文書内を移動する、文書の書式を設定する、文書を保存する、共有する、文書を検査する
	2		
	3	文字、段落、セクションの挿入と書式設定	文字列や段落を挿入する、文字列や段落の書式を設定する、文書にセクションを作成する、設定する
	4		
	5	表やリストの管理	表を作成する、表を変更する、リストを作成する、変更する
	6		
	7	参考資料の作成と管理	参照のための要素を作成する、管理する、参照のための一覧を作成する、管理する
	8		
	9	グラフィック要素の挿入と書式設定	図やテキストボックスを挿入する、図やテキストボックスを書式設定する、グラフィック要素にテキストを追加する、グラフィック要素を変更する
	10		
	11	文書の共同作業の管理	コメントを追加する、管理する、変更履歴を管理する
	12		
	13	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	14		
	15		
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	表計算基礎演習	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ー	演習: ◎	実習: ー 実験: ー
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	表の作成や編集、関数による計算処理、グラフの作成、並べ替えや抽出によるデータベース処理など基本的な機能と操作方法を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word 365 対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	Excelの基礎知識	Excelの概要、Excelの起動と終了、Excelの画面構成
	2	データの入力	データの入力、データの編集、セル範囲選択、ブックの保存、オートフィルの利用
	3	練習問題	解答・解説
	4	表の作成	関数の入力、セルの書式設定、表示形式の設定、列の幅や行の高さの設定、行の削除・挿入、列を非表示・再表示
	5		
	6	練習問題	解答・解説
	7	数式の入力	関数の入力方法を確認する、いろいろな関数を利用する、相対参照と絶対参照を使い分ける
	8		
	9	練習問題	解答・解説
	10	複数シートの操作	シート名の変更、グループの設定、シートの移動・コピー、シート間の集計、別シートのセルの参照
	11		
	12	練習問題	解答・解説
	13	表の印刷	表の印刷、改ページプレビューを利用する
	14	グラフの作成	グラフ機能の概要、円グラフの作成、縦棒グラフの作成、おすすめグラフの作成
	15	データベースの利用	データベース機能の概要、データの並べ替え、データの抽出、データベースを効率的に操作する
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	表計算検定対策 I	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ー	演習: ◎	実習: ー 実験: ー
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	MOS Excel 365 試験必要な実力を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Excel 365 対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	ワークシートやブックの管理	ブック内を移動する、ワークシートやブックの書式を設定する、オプションと表示をカスタマイズする、共同作業のためにコンテンツを設定する、ブックにデータをインポートする
	2		
	3	セルやセル範囲のデータの管理	シートのデータを操作する、セルやセル範囲の書式を設定する、名前付き範囲を定義する、参照する、データを視覚的にまとめる
	4		
	5	テーブルとテーブルのデータの管理	テーブルを作成する、書式設定する、テーブルを変更する、テーブルのデータをフィルターする、並べ替える
	6		
	7	数式や関数を使用した演算の実行	参照を追加する、データを計算する、加工する、文字列を変更する、書式設定する
	8		
	9	グラフの管理  模擬試験	グラフを変更する、グラフを書式設定する  第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション基礎演習		指導担当者名	高橋幸代	
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生	
授業方法	講義: ー	演習: ◎	実習: ー	実験: ー	
単位数	1 単位	総時間	30 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	スライドの新規作成からプレゼン発表まで 基本的な機能と操作方法をを身につける				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材	よくわかる Microsoft PowerPoint 2021 基礎				
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	17	PowerPointの基礎知識	PowerPointの概要、PowerPointを起動する・終了する		
	18		PowerPointを起動する、プレゼンテーションを開く・閉じる		
	19	基本的なプレゼンテーションの作成	新しいプレゼンテーションを作成する、プレースホルダーを操作する		
	20		スライドを挿入する、文字に書式を設定する、プレゼンテーション構成を変更する		
	21	表の作成	表を作成する、行列を操作する、表に書式を設定する		
	22		練習問題		
	23	グラフの作成	グラフを作成する、グラフのレイアウトを変更する		
	24		グラフに書式を設定する、グラフのもとになるデータを修正する、練習問題		
	25	図形やSmartArtグラフィックの作成	図形を作成する、図形に書式を設定する、SmartArtグラフィックを作成する		
	26		SmartArtグラフィックに書式を設定する、テキストをSmartArtグラフィックに変換		
	27	画像やワードアートの挿入	画像を挿入する、ワードアートを挿入する		
	28		練習問題		
	29	特殊効果の設定	アニメーションを設定する、画面切り替え効果を設定する		
	30	プレゼンテーションをサポートする機能	発表者ツールを使用する、リハーサルを実行する、目的別スライドショーの作成		
	31	総合問題	解答・解説		
	32				
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション検定対策 I	指導担当者名	高橋幸代		
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴			実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生		
授業方法	講義: ー	演習: ◎	実習: ー	実験: ー	
単位数	2 単位	総時間	60 時間	週時間数	4 時間
学習到達目標	MOS PowerPoint 365 試験に必要な実力を身につける				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist PowerPoint 365 対策テキスト&問題集				
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	17	プレゼンテーションの管理	プレゼンテーションの表示やオプションを変更する、印刷設定を行う		
	18		スライドショーを設定する、実行する、配布資料、ノートのマスターを変更する		
	19	プレゼンテーションの管理	スライドを挿入する、変更をする		
	20		スライドを並べ替える、グループ化する		
	21	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定	テキストを書式設定する、リンクを挿入する、図を挿入する、書式設定する		
	22		グラフィックを挿入する、書式設定する、図形を並べ替える、グループ化する		
	23	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入	管理する表を挿入する、書式設定する、グラフを挿入する、変更する		
	24		SmartArtを挿入する、書式設定する、3Dモデルを挿入する、変更する		
	25	画面切り替えやアニメーションの適用	画面切り替えを適用する、設定する、コンテンツにアニメーションを設定する		
	26		アニメーションと画面切り替えのタイミングを設定する		
	27	プレゼンテーションの管理	プレゼンテーションの管理、スライドの管理		
	28		テキスト、図形、画像の挿入と書式設定		
	29	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説		
	30				
31					
32					
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナー・秘書学	指導担当者名	高田明日香		
実務経験	-	実務経験:	有		
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生		
授業方法	講義: ◎	演習: ○	実習: ○	実験: -	
単位数	1 単位	総時間	30 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要な一般知識やビジネスマナーを習得し、適切な言動や立ち居振る舞いができる。</li> <li>・授業で習得した知識や実践能力を基に、「秘書検定3級」の合格を目指す。</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材	秘書検定3級クリアテスト				
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	17	必要とされる資質、仕事を行う心構え	秘書としての心構え・模擬問題		
	18	職務知識、秘書的な仕事の役割と機能	秘書の業務・模擬問題		
	19	一般知識、社会常識と企業経営	社会人として求められること・企業に関する知識・模擬問題		
	20	一般知識、社会常識と企業経営	報告・連絡・相談のポイント・模擬問題		
	21	マナー接遇 人間関係と話し方	挨拶の基本・敬語と接遇用語・模擬問題		
	22	マナー接遇 電話対応、来客対応	ビジネス電話の対応・来客対応のマナー・模擬問題		
	23	マナー接遇 慶弔のマナー、贈答のマナー	慶事のマナー・弔事のマナー・模擬問題		
	24	技能 会議、文書の取り扱い	会議に関する知識・社外文書・社内文書・模擬問題		
	25	技能 郵便の知識	文書の受信、発信業務・郵便の知識・模擬問題		
	26	技能 ファイリングとオフィス管理	ファイリングの目的と種類・オフィス機器・模擬問題		
	27	総合練習	模擬問題・過去問題・模擬試験		
	28	総合練習	模擬問題・過去問題・模擬試験		
	29	総合練習	模擬問題・過去問題・模擬試験		
	30	総合練習	模擬問題・過去問題・模擬試験		
31					
32					
<p><b>履修上の留意点</b></p> <p>出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。</p> <p>対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>					

## 授業計画(シラバス)

科目名	英会話演習	指導担当者名	石井 陽寿
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: 一	演習: ◎	実習: 一 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 1 時間
学習到達目標	<p>・ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など。直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。</p>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。          期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。          成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。(Gakken)		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介・授業説明
	2	be動詞、一般動詞、品詞、否定文	文法確認、使用練習、自己表現演習
	3	疑問文、疑問詞	文法確認、使用練習、自己表現演習
	4	複数形、命令文、代名詞	文法確認、使用練習、自己表現演習
	5	時制①	文法確認、使用練習、自己表現演習
	6	時制②	文法確認、使用練習、自己表現演習
	7	助動詞・have to、不定詞・動名詞	文法確認、使用練習、自己表現演習
	8	接続詞、いろいろな文型	文法確認、使用練習、自己表現演習
	9	比較、受け身	文法確認、使用練習、自己表現演習
	10	現在完了、不定詞	文法確認、使用練習、自己表現演習
	11	後置修飾、関係代名詞	文法確認、使用練習、自己表現演習
	12	関節疑問・仮定法	文法確認、使用練習、自己表現演習
	13	運用練習①	読解・自己表現演習
	14	運用練習②	読解・自己表現演習
	15	期末試験	試験
	16	総まとめ	復習
<p><b>履修上の留意点</b>          出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。          対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	国際理解	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	—		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ◎	演習: ○	実習: ○ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	グローバルな視点を身につける 互いの文化や考え方を知り双方の「違い」を理解し相手を尊重することで相互理解の態度を深める		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	地球規模的課題	平和について調べまとめる
	18		人権について調べまとめる
	19		環境について調べまとめる
	20	自国を知る	日本における今日的課題の探求
	21		日本における今日的課題の探求
	22		日本における今日的課題の探求
	23	他国を知る	世界についての今日的課題の探求
	24		世界についての今日的課題の探求
	25		世界についての今日的課題の探求
	26		世界についての今日的課題の探求
	27		世界についての今日的課題の探求
	28		世界についての今日的課題の探求
	29		世界についての今日的課題の探求(留学生との交流)
	30		世界についての今日的課題の探求(留学生との交流)
	31	発表	自国他国の違いについて発表準備
	32		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	カラーコーディネーター	指導担当者名	小池 久子
実務経験	各企業の色彩アドバイザー、各種団体のカラーに関する講演・講座等に20年従事している		実務経験: 有
開講時期	通期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	色彩の基礎的な理論や体系的な知識を身に付け、色彩検定3級を受験し、その資格を取得することを目標とする		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト、CUSカラーカード185		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11	オリエンテーション 色のはたらき、眼のしくみ	テキストP6～21、課題プリント
	12	照明と色の見え、混色	テキストP22～30、課題プリント、ミニテスト
	13	色の分類と三属性、PCCS	テキストP31～48、課題プリント
	14	色の心理効果	テキストP49～57、課題プリント、ミニテスト
	15	色の視覚効果	テキストP58～68、課題プリント、ミニテスト
	16	色相を手がかりにした配色	テキストP69～83、課題プリント、ミニテスト
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	専門演習ⅡA	指導担当者名	小池 久子
実務経験	各企業の色彩アドバイザー、各種団体のカラーに関する講演・講座等に20年従事している		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	総合ビジネス科 2年
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	色彩の基礎的な理論や体系的な知識を身に付け、色彩検定3級を受験し、その資格を取得することを目標とする		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト、CUSカラーカード185		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	17	前期の復習	要点整理
	18	トーンまた色相とトーンを手がかりにした配色	テキストP84～91、課題プリント
	19	配色の基本的な技法	テキストP92～107、課題プリント
	20	ファッション色彩・インテリア色彩	テキストP109～125、課題プリント
	21	検定対策 答案練習①	解答 解説
	22	検定対策 答案練習②	解答 解説
	23	検定対策 答案練習③	解答 解説
	24	検定対策 答案練習④	解答 解説
	25	期末試験	
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			
32			
<p><b>履修上の留意点</b></p> <p>出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。</p> <p>対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	心理学	指導担当者名	高田明日香
実務経験	1981年 - 2024年 43年 営業・添乗・企画・管理		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ◎	演習: 一	実習: 一 実験: 一
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	心理学の基礎学び特に色にまつわる、心理的・生理的・感情的・文化的な効果や影響を理解する。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	心理学概論	心理学とは
	2		パーソナルスペース
	3	認知の発達	ピアジェの発達理論・心の理論・学習理論
	4	認知の発達	ピアジェの発達理論・心の理論・学習理論
	5	社会情動的発達①	自己の発達 第一次反抗期
	6		情動の発達 情動調整の発達
	7	身体機能と運動の発達	身体的機能の発達 運動機能の発達
	8	身体機能と運動の発達	身体的機能の発達 運動機能の発達
	9	様々な心理学	カラーセラピー
	10	様々な心理学	カラーセラピー
	11	様々な心理学	子どもの心理ケア
	12	様々な心理学	子どもの心理ケア
	13	様々な心理学	性格診断テスト
	14	様々な心理学	性格診断テスト
	15	様々な心理学	コラージュ・試験対策
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	クリエイティブ実習基礎	指導担当者名	石山 蓮
実務経験	企画・デザイン会社に8年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ◎ 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトの役割(情報の整理・伝達)を理解し、適切なワイヤーフレームを作成</li> <li>・Figmaの基本操作(文字・色・画像)および応用機能(コンポーネント・オートレイアウト)を習得</li> <li>・プロトタイプ機能を活用し、実際のWebサイトに近い挙動を再現</li> <li>・ターゲット視点に基づき、コンセプト立案からデザイン完成までを自力で完遂</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<p>最終制作課題の評価の他、出席状況、授業課題としての制作物等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価。成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	講師作成のプリントや資料		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	Webの役割と目的	Webサイトがビジネスや社会で果たす役割、目的(ゴール)の設定
	2	Webの構造と情報階層	サイトの階層構造、情報のグループ化とユーザーが迷わない導線設計
	3	Webサイトの解剖①	既存サイトの分析、ヘッダー・フッター・ナビゲーションの名称と役割
	4	Webサイトの解剖②	トーン&マナーの分析、要素の配置ルールとビジュアル要素の役割把握
	5	ワイヤーフレーム作成①	デザインの設計図(骨組み)の重要性と、構成案の作成手順
	6	ワイヤーフレーム作成②	手書きやツールを用いたワイヤーフレームの具体例作成と情報整理
	7	Figma: 基本操作①	アカウント設定、フレーム作成、基本図形の描画、塗り・線の設定
	8	Figma: 基本操作②	レイヤー構造、グループ化、オブジェクトの整列・配置操作
	9	Figma: 基本操作③	テキスト入力、フォント選定、行間・字間の可読性調整
	10	Figma: 基本操作④	テキストスタイルとカラースタイルの登録、一括管理手法
	11	Figma: パーツ制作①	ボタン、アイコン、バッジなどの最小UIパーツのデザイン
	12	Figma: パーツ制作②	ヘッダー、フッターなど共通レイアウトパーツの具体的構築
	13	コンポーネントの基礎	UIパーツの部品化(マスターとインスタンス)、バリエーションの活用
	14	前期総括ワーク①	ここまで学んだFigma機能の習得度チェックと簡易ミニ課題
	15	前期総括ワーク②	ここまで学んだFigma機能の習得度チェックと簡易ミニ課題
	16	ワークプレゼンテーション	総括ワークの各自発表・ブラッシュアップ
<p><b>履修上の留意点</b>  出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。  対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	クリエイティブ実習基礎		指導担当者名	石山 蓮	
実務経験	企画・デザイン会社に8年間従事した経歴			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生	
授業方法	講義: -	演習: -	実習: ◎	実験: -	
単位数	2 単位	総時間	60 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトの役割(情報の整理・伝達)を理解し、適切なワイヤーフレームを作成</li> <li>・Figmaの基本操作(文字・色・画像)および応用機能(コンポーネント・オートレイアウト)を習得</li> <li>・プロトタイプ機能を活用し、実際のWebサイトに近い挙動を再現</li> <li>・ターゲット視点に基づき、コンセプト立案からデザイン完成までを自力で完遂</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<p>最終制作課題の評価の他、出席状況、授業課題としての制作物等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価。成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材	講師作成のプリントや資料				
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	17	プロトタイプ:アクション①	画面遷移、クリックやホバーによる基本的なインタラクションの実装		
	18	プロトタイプ:アクション②	ドロップダウンメニューやモーダルウインドウの動的挙動の作成		
	19	プロトタイプ:応用①	スクロール時のヘッダー固定、特定位置へのアンカーリンク設定		
	20	プロトタイプ:応用②	スマートアニメートを用いた滑らかな画面遷移とUIアニメーション		
	21	【課題】LP制作	特定のテーマに基づいたランディングページのターゲット設定と構成案作成		
	22	【課題】LP制作	ワイヤーフレームの構築と、必要となる素材・コピーの準備		
	23	【課題】LP制作	Figmaを用いたビジュアル制作、コンポーネントとオートレイアウトの適用		
	24	【課題】LP制作	プロトタイプ機能による動的挙動の設定、ユーザー導線の検証		
	25	【課題】LP制作	制作したLPの発表、デザイン根拠の言語化と相互フィードバック		
	26	【最終課題】サイト制作	複数ページ構成Webサイトのテーマ選定、3C・SWOT等を用いたリサーチ		
	27	【最終課題】サイト制作	サイトマップの策定、各ページのワイヤーフレーム作成		
	28	【最終課題】サイト制作	全体構造の構築、ストーリーラインに沿ったカット編集の完遂		
	29	【最終課題】サイト制作	デザインシステムの構築(色、タイポグラフィ、共通パーツの部品化)		
	30	【最終課題】サイト制作	トップページから下層ページ(商品詳細、会社概要等)へのデザイン展開		
31	【最終課題】サイト制作	サイト全体を自由に移動できるプロトタイプ動線の構築			
32	制作物発表会	完成したWebサイトの発表、ターゲットへの訴求意図と工夫点の解説			
<p><b>履修上の留意点</b>  出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。  対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>					

## 授業計画(シラバス)

科目名	PC演習	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	IT会社にてインストラクター業務に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ー	演習: ○	実習: ー 実験: ー
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	WordやExcelを仕事でどのように活かしていくかがわかる実務を身につける ビジネスシーンを具体的にイメージできるようにする		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材	よくわかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 スキルアップ問題集 ビジネス実践編		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	17	プロジェクト発足を通知する	プロジェクト体制図の作成、プロジェクト発足を通知するレポートの作成
	18	会議の開催を連絡する	拡張会議の開催を連絡するレポートの作成、会議配布資料の作成
	19	行動指針を全従業員に告知する	行動指針を通知するレポートの作成、行動指針を掲げたポスターの作成
	20	セミナー開催をお客様に案内する	セミナー一覧表の作成、セミナー開催の案内状の作成
	21	セミナー申込者に受講票を送付する	申込書一覧表の作成
	22		受講票の作成、宛名ラベル印刷
	23	Webサイトへのアクセス数を集計・分析する	アクセス数の集計、アクセス数の分析
	24	社内研修結果を管理する	全従業員の成績の集計、従業員別の個別分析
	25	イベント売上実績を集計・分析する	店舗別・商品カテゴリ別の売上集計表の作成、目標達成率の算出
	26		商品カテゴリ別の売上構成比の比較、店舗別の売上実績と目標達成率の比較
	27	セミナー開催状況を管理する	マスタの作成、開催セミナー一覧表の作成
	28		セミナー別の集計
	29	売上見込み・売上実績を集計する	売上見込みの提出を依頼するレポートの作成
	30		売上見込みの集計、売上実績の集計
	31		
	32		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養	指導担当者名	今野沙織
実務経験		実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 1年生
授業方法	講義: ○	演習: ー	実習: ー 実験: ー
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職採用試験に向けての準備(一般教養、SPI)</li> <li>・就職支援サイト等を活用しWeb模擬試験を受験</li> <li>・就職に対するモチベーションの向上</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	オリエンテーション	自己紹介、今後の授業の進め方
	18	国語	漢字の読み(音読み、訓読み)、ビジネス社会でよく使われる用語
	19	社会	都道府県、県庁所在地
	20	数学	式と計算、速さの基礎
	21	英語	基本単語、時事英語、熟・英略語
	22	英語	発音、ことわざ、文法
	23	数学	旅人算、通過算、流水算数
	24	数学	流水算、割合の基礎
	25	社会	世界の地理
	26	社会	日本史、世界史
	27	国語	漢字の書き取り、同意語と類義語
	28	国語	反対語、四字熟語
	29	数学	図形と角度
	30	国語・社会・数学・英語	総復習
31			
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアプランⅡ		指導担当者名	高橋幸代	
実務経験	-			実務経験:	
開講時期	通期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生		
授業方法	講義: ◎	演習: 一	実習: 一	実験: -	
単位数	4 単位	総時間	60 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア(自分の生き方や働き方)について考え、計画することを学ぶ</li> <li>・授業は、自分を知る・他人を知る・社会を知るの3つをキーワードにして展開する</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材	講師作成のプリントや資料				
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	就職活動の確認	提出書類、履歴書等の書き方他		
	2	就職活動の確認	自己PR・志望理由の確認		
	3	言葉遣い	間違いやすい敬語の復習		
	4	ビジネスメールの作り方	ビジネスメールの定型 ビジネスメールの注意点		
	5	電話応対	正しい電話の受け方、かけ方		
	6	キャリアデザインとは	自分を知る・他人を知る・社会を知る		
	7	コミュニケーションするとは	正確に伝えること ホウレンソウの大切さ		
	8	自分を発見しよう	マインドマップの作成		
	9	自分のPOPを作ろう	自分の特徴を知ろう		
	10	自分をアピールしよう	自分を上手にアピールするには		
	11	コンビニの弁当から職業を考える	職業と業種		
	12	憧れの人に学ぶ	人間の才能とは		
	13	未来予想図を作る	逆算思考で考える		
	14	未来予想図を作る	MustとWhatを整理しよう		
	15	金銭感覚について	未来予想図をもとにお金について考える		
	16	生涯にいくら稼げるか	年収・年金から収入を考える		
<p><b>履修上の留意点</b></p> <p>出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。</p> <p>対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>					

## 授業計画(シラバス)

科目名	キャリアプランⅡ		指導担当者名	高橋幸代	
実務経験	-			実務経験:	
開講時期	通期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生		
授業方法	講義: ◎	演習: -	実習: -	実験: -	
単位数	4 単位	総時間	60 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア(自分の生き方や働き方)について考え、計画することを学ぶ</li> <li>・授業は、自分を知る・他人を知る・社会を知るの3つをキーワードにして展開する</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材	講師作成のプリントや資料				
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	17	生涯にいくら稼げるか	老後にいくら必要か		
	18	社会の流れを知ろう	経済成長率から社会をみる		
	19	社会の流れを知ろう	日本の人口ピラミッドから社会をみる		
	20	今、求められている人材とは	企業と学生の認識のギャップ		
	21	社会で求められている人材になるには	自分の能力について 自分をバージョンアップさせる方法		
	22	自分を売り込もう	自分を様々な視点で見てみる		
	23	自分を売り込もう	言葉はマジック		
	24	あなたにとってのキャリアデザインとは	コミュニケーション力の大切さ		
	25	あなたにとってのキャリアデザインとは	準備する心		
	26	あなたにとってのキャリアデザインとは	発想法・思考法を上手に活用しよう		
	27	まとめ	「あなたにとってのキャリアデザインとは」というテーマでまとめる		
	28	まとめ	「あなたにとってのキャリアデザインとは」というテーマでまとめる		
	29	発表会	「あなたにとってのキャリアデザインとは」というテーマで発表		
	30	発表会	「あなたにとってのキャリアデザインとは」というテーマで発表		
31	キャリアビジョン作成	卒業後のキャリアビジョンを作成			
32	キャリアビジョン作成	卒業後のキャリアビジョンを作成			
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーションⅡ	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ◎	演習: 一	実習: - 実験: -
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を的確に評価・判断して取捨選択していく「状況判断力」の取得</li> <li>・情報を自分なりに解釈(理解)して意見に反映させていく「情報解釈力」の取得</li> <li>・解釈したものを他者に対して的確に発信していく「自己表現力」の取得</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	日常生活においてコミュニケーション論で学んだことを活用する。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	オリエンテーション	授業概要説明、社会で求められるコミュニケーションを理解する
	2	自己理解①	自分の性格・強み・価値観を整理する
	3	自己理解②	長所・短所の伝え方を学ぶ
	4	話し方の基本	発声・表情・姿勢・話すスピードを学ぶ
	5	聴く力①	相手の話を正しく聴く姿勢を身につける
	6	聴く力②	相づち・質問・共感の方法を学ぶ
	7	敬語①	基本的な敬語表現を理解する
	8	敬語②	就職活動で使う敬語を実践する
	9	ビジネスマナー①	挨拶・身だしなみ・礼儀を学ぶ
	10	ビジネスマナー②	名刺交換・来客対応を学ぶ
	11	電話応対①	電話の受け方・取り次ぎを学ぶ
	12	電話応対②	ロールプレイで電話応対を実践する
	13	メール作成①	ビジネスメールの基本を学ぶ
	14	メール作成②	就職活動用メールを作成する
	15	履歴書指導①	履歴書の基本構成を理解する
	16		
<p><b>履修上の留意点</b></p> <p>出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。</p> <p>対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーションⅡ		指導担当者名	高橋幸代	
実務経験	-			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年		ライフデザイン科2年制 2年生	
授業方法	講義: ◎	演習: -	実習: -	実験: -	
単位数	4 単位	総時間	60 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標					
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>				
使用教材					
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	17	履歴書指導②	自己PR・志望動機を作成する		
	18	自己PR作成	自分の経験を整理し文章化する		
	19	グループワーク①	協力して課題解決を行う		
	20	グループワーク②	意見交換と役割分担を実践する		
	21	プレゼン基礎	人前で伝える力を身につける		
	22	プレゼン実践	自己紹介プレゼンを行う		
	23	面接対策①	面接の流れと基本マナーを学ぶ		
	24	面接対策②	入退室や受け答えを練習する		
	25	面接対策③	よくある質問への回答を考える		
	26	模擬面接①	個人面接を実践する		
	27	模擬面接②	グループ面接を実践する		
	28	報告・連絡・相談	社会人に必要な報連相を学ぶ		
	29	職場コミュニケーション	職場での人間関係づくりを考える		
	30	就職活動総合演習	面接・マナー・会話を総合的に実践する		
31	振り返り	学習成果を確認し今後の課題を整理する			
32					
履修上の留意点					

## 授業計画(シラバス)

科目名	自己探求Ⅲ	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: 一	演習: 一	実習: ◎ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	自らの興味関心を探求し、就職・進学意欲を高める 自らの進路決定に向けて主体的に見学に参加することが出来る		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	自己分析	オリエンテーション
	18	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	19	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	20	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	21	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	22	自己探求	JO-BI内の他学科調べ
	23	自己分析	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	24	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	25	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	26	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	27	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	28	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	29	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
	30	自己探求	JO-BI内の他学科への見学・参加実習
31			
32			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	自己探求Ⅳ	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: 一	演習: 一	実習: ◎ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	自らの進路決定に向けて主体的に見学に参加することが出来る 自らの進路を決定し、次へのステップアップの準備をおこなうことができる		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	自己探求	半年間の授業見学の計画・相談
	18	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	19	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	20	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	21	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	22	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	23	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	24	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	25	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	26	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	27	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	28	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	29	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
	30	自己探求	FSGカレッジリーグの他学科への見学・参加実習
31			
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ネイチャー実習Ⅱ	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	—		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: —	演習: —	実習: ◎ 実験: —
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	自然との関わりを通して、食・環境・地域・人とのつながりを学び、体験型学習を通して主体性や協働力を育成する。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	オリエンテーション	授業概要説明、年間活動紹介、自然体験の目的を理解する
	2	屋上菜園計画	育てる野菜やハーブを決め、栽培計画を立てる
	3	菜園づくり実習	土づくり、プランター準備、種まき・苗植えを行う
	4	植物観察	水やりや成長観察を行い、記録をまとめる
	5	自然素材WS①	植物を使ったクラフト制作を行う
	6	牧場学習	酪農や動物との関わり、命と食について学ぶ
	7	牧場実習	牧場見学や動物とのふれあい体験を行う
	8	実習振り返り	牧場実習のまとめとグループ発表を行う
	9	菜園管理	野菜の管理、害虫対策、収穫準備を行う
	10	果物狩り事前学習	地域農業や旬の果物について学ぶ
	11	果物狩り体験	果物収穫体験と生産者交流を行う
	12	食育WS	収穫物を活用した簡単な調理体験を行う
	13	自然素材WS②	ハーブや自然素材を活用した作品制作を行う
	14	収穫祭準備	活動記録整理や展示・発表準備を行う
	15	成果発表	学習成果発表と1年間の振り返りを行う
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	文書作成応用演習	指導担当者名	高橋 幸代	
実務経験	IT企業に18年間従事した経歴			実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生	
授業方法	講義: -	演習: ◎	実習: -	実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間	週時間数 4 時間
学習到達目標	MOS Word 365 Expert 試験必要な実力を身につける			
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>			
使用教材	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word 365 Expert 対策テキスト&問題集			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画  前期	1	文書のオプションと設定の管理	文書とテンプレートを管理する、共同作業用に文書を準備する、言語オプションを使用する、設定する	
	2			
	3	文書のオプションと設定の管理	文書とテンプレートを管理する、共同作業用に文書を準備する、言語オプションを使用する、設定する	
	4			
	5	高度な編集機能や書式設定機能の利用	文書のコンテンツを検索する、置換する、貼り付ける、段落レイアウトのオプションを設定する、スタイルを作成する、管理する	
	6			
	7	高度な編集機能や書式設定機能の利用	文書のコンテンツを検索する、置換する、貼り付ける、段落レイアウトのオプションを設定する、スタイルを作成する、管理する	
	8			
	9	ユーザー設定のドキュメント要素の作成	文書パーツを作成する、変更する、ユーザー設定のデザイン要素を作成する、索引を作成する、管理する、図表一覧を作成する、管理する	
	10			
	11	ユーザー設定のドキュメント要素の作成	文書パーツを作成する、変更する、ユーザー設定のデザイン要素を作成する、索引を作成する、管理する、図表一覧を作成する、管理する	
	12			
	13	高度なWord機能の利用	フォーム、フィールド、コントロールを管理する、マクロを作成する、変更する、差し込み印刷を行う	
	14			
	15			
	16			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	文書作成検定対策Ⅱ	指導担当者名	高橋 幸代
実務経験	IT企業に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: -	演習: ◎	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	MOS Word 365 Expert 試験必要な実力を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Word 365 Expert 対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	2	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	3	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	4	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	5	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	6	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	7	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	8	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	9	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	10	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	11	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	12	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	13	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	14	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	15	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	表計算応用演習	指導担当者名	高橋 幸代
実務経験	IT企業に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: -	演習: ◎	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	MOS Excel 365&2021 Expert 試験に必要な実力を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	ブックのオプションと設定の管理	ブックを管理する、共同作業のためにブックを準備する、言語オプションを使用する、設定する
	18		
	19		
	20		ブックを管理する、共同作業のためにブックを準備する、言語オプションを使用する、設定する
	21	データの管理と書式設定	既存のデータを使用してセルに入力する、データに表示形式や入力規則を適用する、詳細な条件付き書式やフィルターを適用する
	22		
	23		既存のデータを使用してセルに入力する、データに表示形式や入力規則を適用する、詳細な条件付き書式やフィルターを適用する
	24		
	25	高度な機能を使用した数式およびマクロの作成	関数で論理演算を行う、関数を使用してデータを検索する、高度な日付と時刻の関数を使用する、データ分析を行う、数式のトラブルシューティングを行う、簡単なマクロを作成する、変更する
	26		
	27		
	28		高度な機能を使用したグラフを作成する、変更する、ピボットテーブルを作成する、変更する、ピボットグラフを作成する、変更する
29			
30			
31	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説	
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	表計算検定対策Ⅱ	指導担当者名	高橋 幸代
実務経験	IT企業に18年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: -	演習: ◎	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	MOS Excel 365 Expert 試験に必要な実力を身につける		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Excel 365 Expert 対策テキスト&問題集		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	2	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	3	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	4	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	5	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	6	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	7	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	8	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	9	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	10	模擬試験	第1回～第5回模擬試験、解答・解説
	11	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	12	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	13	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	14	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	15	模擬試験	ランダム模擬試験、解答・解説
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	プレゼンテーション応用	指導担当者名	高橋幸代
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: 一	演習: ◎	実習: 一 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	2年間の集大成として各自の課題発見から研究、発表ができる プレゼンテーション技術を活用し、発表することが出来る		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	17	テーマの選定	各自研究のテーマについて決定する
	18	研究の進め方	選択したテーマに沿って研究方法等を検討し、研究目的、研究方法を各自プレゼンテーションする
	19	各自研究 I	研究計画を作成し、研究を進める (関係資料等の教員指導などを含む)
	20	各自研究 I	研究計画を作成し、研究を進める (関係資料等の教員指導などを含む)
	21	各自研究 I	研究計画を作成し、研究を進める (関係資料等の教員指導などを含む)
	22	各自研究 I	研究計画を作成し、研究を進める (関係資料等の教員指導などを含む)
	23	中間検討 I	卒業研究の進捗状況、今後の課題などをプレゼンテーションし、論議する
	24	各自研究 II	卒業研究とりまとめを念頭にした計画を作成し、研究を進める
	25	各自研究 II	卒業研究とりまとめを念頭にした計画を作成し、研究を進める
	26	各自研究 II	卒業研究とりまとめを念頭にした計画を作成し、研究を進める
	27	各自研究 II	卒業研究とりまとめを念頭にした計画を作成し、研究を進める
	28	中間検討 II	卒業研究のとりまとめにむけて見直しを図り、グループ内で検討しあう
	29	中間検討 II	卒業研究のとりまとめにむけて見直しを図り、グループ内で検討しあう
	30	卒業研究の取りまとめ	卒業研究作成指導、プレゼンテーション指導、報告要旨集作成など
31	卒業研究の取りまとめ	卒業研究作成指導、プレゼンテーション指導、報告要旨集作成など	
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	共助理解	指導担当者名	高田明日香
実務経験	—		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ◎	演習: 一	実習: 一 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	地域の災害対応や保健、医療、福祉などの分野で重要な役割を担う存在となるために必要な基礎的能力を養う		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  前期	1	情報リテラシー	信頼性のある情報源を見つける方法や、データの解釈方法
	2	情報リテラシー	信頼性のある情報源を見つける方法や、データの解釈方法
	3	情報リテラシー	信頼性のある情報源を見つける方法や、データの解釈方法
	4	医療とAI	AIを用いた診断支援、患者データの分析、健康管理アプリケーション
	5	医療とAI	AIを用いた診断支援、患者データの分析、健康管理アプリケーション
	6	医療とAI	AIを用いた診断支援、患者データの分析、健康管理アプリケーション
	7	倫理学	患者のプライバシーを尊重する方法や、公正な意思決定の原則
	8	倫理学	患者のプライバシーを尊重する方法や、公正な意思決定の原則
	9	社会学	地域社会のニーズを分析し、適切な対応策を考える方法
	10	社会学	地域社会のニーズを分析し、適切な対応策を考える方法
	11	社会学	地域社会のニーズを分析し、適切な対応策を考える方法
	12	社会学	地域社会のニーズを分析し、適切な対応策を考える方法
	13	心理学	コミュニケーションスキルの向上やストレス管理の方法
	14	心理学	コミュニケーションスキルの向上やストレス管理の方法
	15	振り返り	共助理解とはなにかまとめる
	16		
<p><b>履修上の留意点</b></p> <p>出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。</p> <p>対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	簿記学A	指導担当者名	大坂 友子
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ◎	演習: ○	実習: - 実験: -
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	小規模株式会社の会計処理について学ぶ。具体的には、期中仕訳、決算整理、財務諸表の作成をマスターし、日商簿記検定3級の合格を目指す。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	日商簿記3級合格テキスト・トレーニング・まるっと完全予想問題集		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	簿記の基礎、日常の手続き、商品売買取引	簿記一連の流れ、簿記の五要素、仕訳のルール、商品売買取引
	2	現金預金、小口現金、クレジット売掛金、手形取引	期中仕訳(現金預金、小口現金、クレジット売掛金、手形取引)
	3	電子記録債権・債務、さまざまな帳簿の関係	期中仕訳(電子記録債権・債務)、補助簿の記入
	4	その他の取引Ⅰ～Ⅲ	貸付金・借入金、有形固定資産の取得売却、未収入金・未払金、仮払金・仮受金
	5	訂正仕訳、試算表	仕訳誤りの訂正、試算表の作成
	6	決算整理	現金過不足、貯蔵品、当座借越、売上原価の算定、貸倒れ、減価償却、経過勘定項目
	7	決算整理後残高試算表、精算表、財務諸表	決算整理前残高試算表、精算表、貸借対照表、損益計算書の作成委
	8	株式発行、剰余金の配当・処分、税金、証ひょう、伝票	株式の発行の処理、消費税、法人税、伝票
	9	問題練習	まるっと完全予想問題①
	10	問題練習	まるっと完全予想問題②
	11	問題練習	まるっと完全予想問題③
	12	問題練習	まるっと完全予想問題④
	13	問題練習	まるっと完全予想問題⑤
	14	問題練習	まるっと完全予想問題⑥
	15	問題練習	まるっと完全予想問題⑦
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	簿記学B	指導担当者名	大坂 友子
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ○	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	小規模株式会社の会計処理について学ぶ。具体的には、期中仕訳、決算整理、財務諸表の作成をマスターし、日商簿記検定3級の合格を目指す。		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	日商簿記3級合格テキスト・トレーニング・まるっと完全予想問題集		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	17	問題練習	簿記一連の流れ、簿記の五要素、仕訳のルール、商品売買取引(トレーニング)
	18	問題練習	期中仕訳(現金預金、小口現金、クレジット売掛金、手形取引)(トレーニング)
	19	問題練習	期中仕訳(電子記録債権・債務)、補助簿の記入(トレーニング)
	20	問題練習	貸付金・借入金、有形固定資産の取得売却、未収入金・未払金、仮払金・仮受金(トレーニング)
	21	問題練習	仕訳誤りの訂正、試算表の作成(トレーニング)
	22	問題練習	現金過不足、貯蔵品、当座借越、売上原価の算定、貸倒れ、減価償却、経過勘定項目(トレーニング)
	23	問題練習	決算整理前残高試算表、精算表、貸借対照表、損益計算書の作成委(トレーニング)
	24	問題練習	株式の発行の処理、消費税、法人税、伝票(トレーニング)
	25	問題練習	まるっと完全予想問題①
	26	問題練習	まるっと完全予想問題②
	27	問題練習	まるっと完全予想問題③
	28	問題練習	まるっと完全予想問題④
	29	問題練習	まるっと完全予想問題⑤
	30	問題練習	まるっと完全予想問題⑥
31			
32			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	健康と運動	指導担当者名	高橋陽佳
実務経験	—		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ○	演習: ○	実習: ◎ 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 1.5 時間
学習到達目標	幅広い年代の健康と運動について実践的に学ぶ 社会人になったときのリフレッシュ方法を学ぶ		
評価方法 評価基準	<p>学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。</p> <p>期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。</p> <p>成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  前期	1	健康論	心の発達と健康
	2		身体の発達と健康
	3		こどもと運動
	4		青年期の運動
	5		社会人におけるメンタルヘルス
	6		社会人におけるメンタルヘルス
	7	ピラティスを体験	リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	8		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	9		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	10		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	11		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	12		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	13		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	14		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	15		リフレッシュ法・呼吸法を学ぶ
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	クリエイティブ実習応用	指導担当者名	石山 蓮
実務経験	企画・デザイン会社に8年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: -	演習: ○	実習: ◎ 実験: -
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画の目的とターゲットを明確にし、伝わりやすい絵コンテや構成案を作成する</li> <li>・カメラ撮影の基本(構図・光・音声)を理解し、意図に沿った素材を収録する</li> <li>・動画編集ソフトの基本操作を習得し、カット、テロップ、BGMの効果的な演出を行う</li> <li>・制作課題を通じて、映像表現の意図を論理的に説明・言語化する力を養う</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<p>最終制作課題の評価の他、出席状況、授業課題としての制作物等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価。成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>		
使用教材	講師作成のプリントや資料		
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画  後期	17	オリエンテーション	動画制作の全体像(企画・撮影・編集)と、ビジネスにおける動画活用の重要性を学ぶ。
	18	企画の基礎: ターゲット設定	「誰に」「何を」伝えるか。視聴者ターゲットの明確化とコンセプト設計を学ぶ。
	19	デザインの基礎: 絵コンテ	映像を撮影する前の「設計図」となる絵コンテの重要性と、描き方を学ぶ。
	20	撮影の技術: 構図とアングル	三分割法、サイズ(引き・寄り)、カメラアングルによる心理的効果の違い。
	21	動画編集: 基本操作	編集ソフトの立ち上げ、素材のインポート、不要な部分を削るカット(トリミング)の基本。
	22	動画編集: 基本操作	伝わる文字デザイン(フォント・色・サイズ・配置)と、タイミングの合わせ方。
	23	動画編集: 基本操作	BGMの選定、効果音(SE)の挿入、BGMと音声のボリュームバランス(ダッキング)。
	24	【課題】ショート動画	SNSや広告を想定した1分以内の縦型動画の企画・構成案策定
	25	【課題】ショート動画	縦型ならではの構図を用いた撮影と、インパクト重視のカット・テロップ編集
	26	【課題】ショート動画	モーショングラフィックスを用いた動きのあるタイトル追加、最終出力
	27	【最終課題】PR動画制作	ゼロからの自由制作、インタビュー、紹介、PR動画等の企画書作成
	28	【最終課題】PR動画制作	シナリオの具体化、撮影を効率化するための詳細な絵コンテ作成
	29	【最終課題】PR動画制作	絵コンテに基づいたロケーション撮影、予備素材(インサートカット)の収集
	30	【最終課題】PR動画制作	全体構造の構築、ストーリーラインに沿ったカット編集の完遂
31	【最終課題】PR動画制作	テロップ、BGM、SE、カラー調整の一体化とトーン＆マナーの統一	
32			
<p><b>履修上の留意点</b>          出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。          対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。</p>			

## 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養	指導担当者名	原澄江
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ◎	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	「すらら」を活用し、高校までの基礎学力(国語・数学・英語)を復習しながら、就職活動に必要な一般常識や文章力を身につける。また、硬筆検定対策を通して、丁寧な文字や社会人として必要な記述力を養う。加えて、就職活動の進め方や履歴書作成、面接対策などを学び、社会人基礎力の向上を目指す。		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業説明・就職に必要な基礎学力について
	2	すらら活用①	
	3	国語基礎①	
	4	数学基礎①	
	5	英語基礎①	
	6	硬筆検定①	
	7	就職活動基礎①	
	8	国語基礎②	
	9	数学基礎②	
	10	英語基礎②	
	11	硬筆検定②	
	12	就職活動基礎②	
	13	一般常識①	
	14	すらら活用②	
	15	国語基礎③	
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	一般教養	指導担当者名	原澄江
実務経験	-	実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ライフデザイン科2年制 2年生
授業方法	講義: ◎	演習: -	実習: - 実験: -
単位数	2 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	「すらら」を活用し、高校までの基礎学力(国語・数学・英語)を復習しながら、就職活動に必要な一般常識や文章力を身につける。また、硬筆検定対策を通して、丁寧な文字や社会人として必要な記述力を養う。加えて、就職活動の進め方や履歴書作成、面接対策などを学び、社会人基礎力の向上を目指す。		
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としてのレポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験によって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点～100点)(優)、B(70点～79点)(良)、C(60点～69点)(可)、D(0点～59点)(不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。		
使用教材			
授業外学習の方法	授業内容の復習。課題が出された場合は自宅にて実施。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	17	数学基礎③	就職試験対策問題
	18	英語基礎③	就職活動で使う英語表現
	19	硬筆検定③	文章書写練習
	20	就職活動基礎③	履歴書作成①
	21	一般常識②	SPI・一般常識問題演習
	22	国語応用	面接で使う言葉遣い
	23	数学応用	計算問題演習
	24	英語応用	英文読解・リスニング基礎
	25	硬筆検定④	検定形式練習
	26	就職活動基礎④	履歴書作成②・添削
	27	面接対策①	面接マナー・入退室
	28	面接対策②	模擬面接
	29	総合演習①	一般常識総復習
	30	総合演習②	就職試験対策演習
31	まとめ	学習振り返り・進路確認	
32			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施する。			